

# 中学校における部活動指導員の配置

(補習等のための指導員等派遣事業の一部)

令和4年度要求・要望額  
(前年度予算額)

13億円  
12億円



適切な練習時間や休養日の設定など部活動の適正化を進めている教育委員会の部活動指導員の配置を支援。  
顧問の部活動指導時間の短縮や競技経験がない顧問の負担を軽減し、  
更には専門的指導による生徒の技能向上を目指し、

## 部活動指導員の配置を拡充【11,400人】

活用  
イメージ  
(例)



子供たちへの実技指導や  
安全・障害予防に関する知識・技能の指導



学校外での活動（大会・練習試合等）への引率

**対象校種**  
公立の中学校、義務教育学校（後期課程）  
中等教育学校（前期課程）、特別支援学校（中学部）

**想定人材**  
指導する部活動に係る専門的な知識・技能を有する人材

**資格要件**  
自治体の定めによるが、  
基本的には特別な資格等は必要なし

**実施主体**  
学校設置者（主に市町村）  
※公立高等学校等については、地方財政措置にて配置を支援

**補助割合**  
国1/3 都道府県1/3 市町村1/3  
(指定都市：国1/3 指定都市2/3)

**補助対象経費**  
報酬、期末手当、交通費、補助金 等



### 部活動指導員の属性（実績例）

退職教員、非常勤講師等との兼務、  
地域人材、大学生等



### 人材確保の工夫（例）

・「人材バンク」を設け、域内幅広く人材を確保  
・大学と連携し、大学生の部活動指導員を確保

※運動部活動に係るガイドライン/文化部活動に係るガイドラインを遵守するとともに、教師の負担軽減の状況を適切に把握するなど一定の要件を満たす学校設置者に対して支援。  
※交通費については、人材バンクの立ち上げ、または、人材バンクの立ち上げ計画を作成している学校設置者に対して支援。  
※支援に際しては、各自治体において客観的な在校等時間の把握を行っていることを前提とする。